

## 220th IBB Seminar

# タンパク質の幾何学構造を利用した 非共有結合型不可逆リガンドの開発研究

講師：大橋 南美 特任助教

昭和薬科大学 医薬分子化学研究室

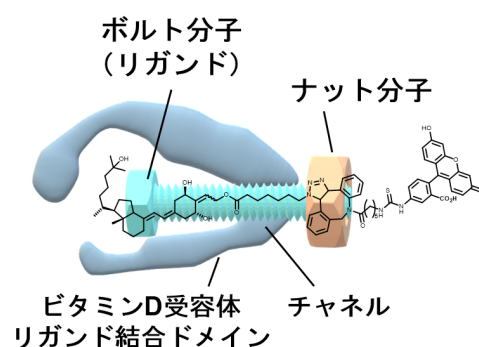
日時：平成31年3月2日(土) 14:00~15:00

会場：東京医科歯科大学 生体材料工学研究所

第2会議室 22号館 (1階)



**Abstract:** 標的タンパク質と共有結合するリガンドは持続的な作用が期待できる一方、標的以外との結合形成が原因のオフターゲット効果による毒性が懸念される。所属研究室では、タンパク質の幾何学構造に着目し、ボルトに見立てたリガンドのスクリーニング部位をタンパク質がもつチャンネルに通し *in situ* でナット分子を結合させることで、標的タンパク質と共有結合を形成することなく不可逆的に結合するリガンドが創製できると考え、核内受容体をモデルにリガンドの開発に取り組んでいる。本セミナーでは、ビタミンD受容体 (VDR) がもつチャンネルを利用した非共有結合型の不可逆結合リガンドの開発研究について最新の成果を報告する。



お問い合わせ：生体材料工学研究所

ゲイミクス分野

亀井(内線 8036)、玉村